

千葉市美術館企画展「ブラチスラバからやってきた！世界の絵本パレード」を開催します ～世界最大規模の絵本原画コンクールで受賞した各国の絵本原画と、日本出品作を紹介～

千葉市美術館では、企画展「ブラチスラバからやってきた！世界の絵本パレード」を以下のとおり開催しますので、お知らせします。

本展は、世界最大規模の絵本原画コンクールである「ブラチスラバ世界絵本原画展」の受賞作品と日本代表として選出された10組の作家の作品などあわせて198点を展示し、国際的なイラストレーションの現在地を紹介するものです。

開催に先立ちまして、3月21日（金）14：00から記者の皆さまへの説明会を実施しますので、ぜひ取材にお越しください。

1 会期

令和7年3月22日（土）～5月18日（日）

休室日 4月7日（月）、14日（月）、21日（月）、28日（月）、5月7日（水）、12日（月）

※4月7日（月）、21日（月）、5月7日（水）は全館休館

2 会場

千葉市美術館（中央区中央3-10-8）

3 主催

千葉市美術館、朝日新聞社

4 ポイント

◆ブラチスラバ世界絵本原画展とは

「ブラチスラバ世界絵本原画展」（略称BIB）は、スロバキア共和国の首都ブラチスラバで2年ごとに開催される世界最大規模の絵本原画コンクールです。子どもの本のイラストレーションを対象とし、1967年に創設されました。数多くのアジアの国が参加しており、日本は第1回から継続して作品を送り出しています。本展では2023年に現地で行われた第29回展の受賞作品をご紹介します。

◆世界各国のイラストレーションの最先端にふれる

本展で紹介する第29回ブラチスラバ世界絵本原画展では、グランプリにチリの作家の他、ラトビア、中国、スイス、イスラエル、スペインなど多彩な国の作家が受賞しました。日本ではなかなか目にすることのできない地域のイラストレーションが一堂にそろい、作家性や地域性なども感じられる貴重な機会となります。

◆日本からの出品作品の制作の裏側や、出品作家によるイベントも

日本からは、初めての参加からベテラン作家まで10組の作家が出品。今回は惜しくも日本勢は受賞がありませんでしたが、幅広い世代に知られる作家が名を連ねています。本展では出品作品の原画のほか、制作の過程を物語るラフスケッチや草稿など資料や、各作家に行った取材によって語られたエピソードもあわせて紹介します。

また会期中には出品作家によるオープニングトークやワークショップ、公開制作も行われ、作品だけでなく作家自身と触れ合うこともできます。

＜日本出品作家（五十音順）＞

あべ弘士、荒井良二、石川えりこ、きくちちき、齋藤慎、ザ・キャビンカンパニー、junaida^{ジュナイダ}、
たじまゆきひこ、堀川理万子、桃山鈴子

◆千葉市美術館とブラチスラバ世界絵本原画展の20年

千葉市美術館では2005年からブラチスラバ世界絵本原画展を継続的に紹介しており、今回で10回目となります。本展では「BIBと千葉市美術館の20周年」と題して特集を行い、これまで市美術館で紹介してきた歴史を振り返り、20年の間に受賞した作品の絵本を紹介します。

5 観覧料

一般 1,200円（960円）、大学生 700円（560円）

※小・中学生、高校生および障害者手帳をお持ちの方とその介護者1人は無料

（ ）内は前売券、市内在住65歳以上の方の料金

※前売券は、ローソンチケット（Lコード 34285）、セブンイレブン（セブンチケット）、
千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口にて3月21日
（金）まで販売（3月22日以降は当日券販売）

※ナイトミュージアム割引 金・土曜日の18：00以降は観覧料半額

6 関連イベント

出品作家によるオープニングトークやワークショップ、公開制作、担当学芸員によるギャラリートークなどを開催。

「ブラチスラバからやってきた！世界の絵本パレード」披露説明会 開催概要

1 日時

3月21日（金）14：00から

2 場所

千葉市美術館 8階展示室

3 内容

展覧会や主な展示作品の見所について担当学芸員からご説明します。

＜本件に関するお問い合わせ先＞

千葉市美術館 担当学芸員 庄子真汀、山下彩華

広報担当 磯野愛

電話 043-221-2311

FAX 043-221-2316

E-Mail isono@ccma-net.jp